


検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	このような症状のときは 直ちに使用を中止してAC プラグをコンセントから 抜いて、弊社営業所または 販売店にご相談ください。
	 <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 	

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786 FAX.(03)5916-5872
コマーシャル部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5789 FAX.(03)5916-5876
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5788 FAX.(03)5916-5875
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5794 FAX.(03)5916-5878
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
名古屋営業所 ストロボクリニック課	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
大阪営業所	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
福岡営業所 ストロボクリニック課	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786 FAX.(03)5916-5872

COMET

CAPA-2400CQ

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。

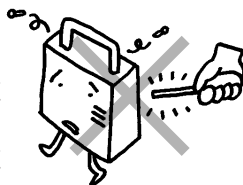


警告



■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切り AC コードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

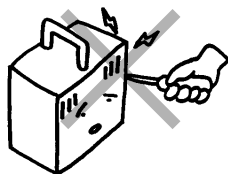


■電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

■電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



■感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

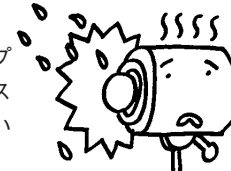
アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、AC コードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。



■使用中のヘッドに水滴などがつかないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



■ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



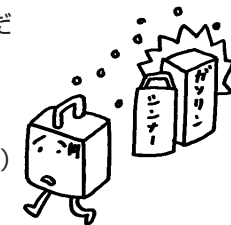
■ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



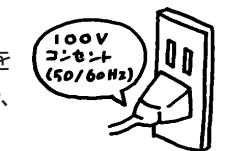
■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



■使用電圧は AC100V/200V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



■ AC コードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

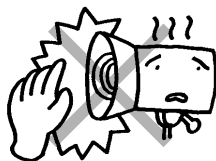
急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

注意



■使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。

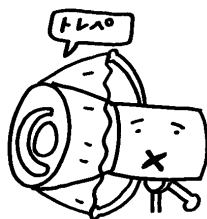


■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。

■ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



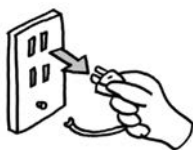
■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



■使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取るとか、ブレーカーなどを OFF にしてください。

発火、火災の恐れがあります。



2 使用上のご注意とお願い

■本機の定格入力電圧は AC100V/200V ± 10% (50/60Hz) です。

定格電圧以外での使用は故障の原因となります。

■調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。

■本機の推奨ヘッドは CAX-32CQ ヘッドです。その他の CX タイプヘッドをご使用になるときは最大入力定格（ストロボおよびモデリングランプ定格）にご注意ください。定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけでなく大変危険です。

■本機で CX-12 バイチューブヘッドや多灯管ヘッド（FR メインライト、スカイライト、SF-Ⅲヘッドなど）、レクト 126 ヘッドの使用はしないでください。電源部やヘッドを壊す恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1ヶ月に1～2度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。

【通電の方法】コネクタに発光部を接続し、各灯スイッチを ON にして出力を FULL にしてください。

■3ヶ月以上（10ヶ月未満）の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、出力を FULL にして最低4時間通電をしてください。

この間は絶対に発光させないでください。

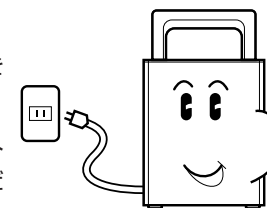
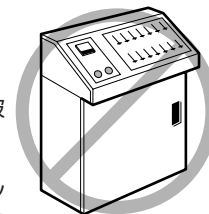
【通電の方法】同上

■10ヶ月以上の長期間で使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検（有料）を受けてください。長期間で使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、**発火、火災の恐れ**があります。

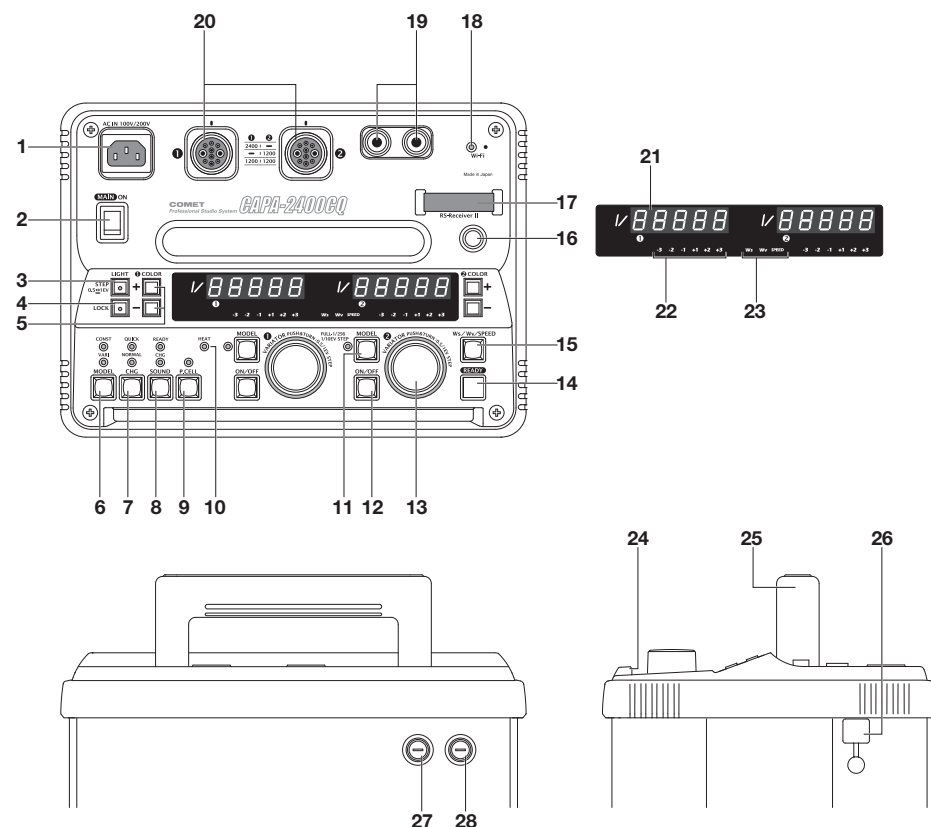
●無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線 LAN と同様に 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。（使用周波数：2.427GHz ～ 2.457GHz）

■赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■赤外シンクロ装置（当社製）を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。赤外シンクロ受信器を使用しているにもかかわらずフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出る場合があります。



3 各部の名称とはたらき



1	ACコネクタ (AC IN 100V/200V)	付属のACコードで本機とACコンセントを接続してください。 使用後は必ずACコンセントからACプラグを抜いてください。
2	メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にし、ACコンセントからACプラグを抜いてください。
3	パネルライトスイッチ/ 調光ステップ切換えスイッチ (LIGHT-STEP)	操作パネル手前のパネルライトが点灯します。暗いスタジオでの操作時に使用します。 長押しすることでバリエーター押し回しの調光ステップを0.5EVまたは1.0EVに切り換えます。
4	ロックスイッチ (LOCK)	ロックスイッチが「ON」のときLED(緑)が点灯します。 バリエーター、各灯スイッチ、色温度調整の操作がロックされます。 セットされている設定を不用意にさわるでも変化しないようにするための、安全スイッチです。
5	色温度調整スイッチ (①・② COLOR +/-)	長押しすることで各灯の色温度をそれぞれ100Kステップで±300K調整します。
6	モデリングランプモード スイッチ (MODEL)	モデリングランプを「消灯(OFF)」「調光(VARI)」または「100%点灯(CONST)」にします。

7	充電モードスイッチ(CHG)	充電モードを「クイック(QUICK)」または「ノーマル(NORMAL)」にします。 電源容量に合った充電時間を選択します。
8	サウンドモードスイッチ (SOUND)	サウンドモードを「充電中音 (CHG)」 「充電完了音 (READY)」または「OFF」にします。
9	フォトセルスイッチ(P.CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させる時「ON」にします。 フォトセルスイッチ「ON」のときLED(緑)が点灯します。
10	過熱警報表示(HEAT)	過熱警報作動時に点滅します。
11	各灯モデリングランプ スイッチ(①・② MODEL)	モデリングランプが「ON」のときLED(緑)が点灯し、該当する発光部のモデリングランプが点灯します。 モデリングランプモードスイッチ(MODEL)の設定が優先されます。
12	各灯スイッチ (①・② ON/OFF)	各灯の出力を「ON」または「OFF」にします。「ON」にすると出力表示に出力が表示され発光可能となります。「OFF」にすると出力表示に「OFF」と表示されます。
13	各灯バリエーター (①・② VARIATOR)	各灯の出力をFULL～1/256まで1/10EVステップで調光します。 押し込みながら回すと1.0EVまたは0.5EVステップで調光します。
14	レディーランプ(READY) / テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。ディスチャージ中は点滅します。 テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。
15	表示モード切換スイッチ (Ws/Wv/SPEED)	軽く押すごとに出力表示をWs(ワットセカンド)またはWv(ワットバリュウ)、SPEED(閃光時間表示)に切り換えます。
16	フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。 フォトセルスイッチ「ON」の時に作動します。
17	RS-レシーバーII 接続コネクタ	RS-レシーバーII(付属)を接続します。 RS-レシーバーII以外の接続は絶対にしないでください。
18	Wi-Fi通信表示	Wi-Fiルーターとの通信環境がスタンバイされると点灯します。
19	シンクロソケット	ホーンジャックタイプのシンクロコード(付属)でカメラと接続します。
20	出力コネクタ (①・②)	発光部を接続します。着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。 発光部の接続位置によって出力配分が切り換わります。
21	出力/閃光時間表示	各出力、閃光時間をデジタル表示します。また、不発光が生じたとき該当する出力表示が点滅します。
22	色温度調整表示	色温度の調整値を表示します。 ストロボ出力が大きくなると調整範囲が狭くなります。
23	表示モード	表示モード(Ws/Wv/SPEED)を表示します。
24	パネルライト	パネルライトスイッチ(LIGHT)が「ON」のとき点灯します。 暗い場所での撮影時に使用します。
25	取 手	スベアヒューズが収納されています。
26	カードスロット	Wi-Fi通信用マイクロSDカードをセットします。
27	モデリングランプヒューズ (MODEL)	モデリングランプ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。
28	ストロボヒューズ(STROBE)	ストロボ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。 また、入力電圧により使用するヒューズを交換してください。

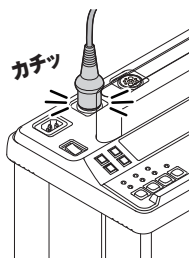
4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続します

ヘッドコードを電源部の出力コネクターへ接続します。
" カチッ " と音がするまで十分に差し込んでください。

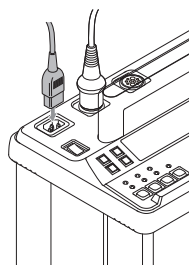
【ご注意】

- コネクターを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが損傷し、発火の恐れがあります。また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ (MAIN) を必ず「OFF」にしてください。



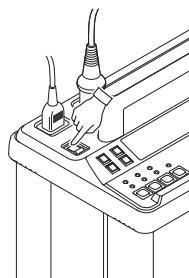
■ 2. ACコードを接続します

電源部のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターへ十分に差し込んでください。
そのあと、ACコードをコンセントへ差し込みます。



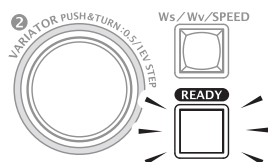
■ 3. メインスイッチを「ON」にします

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にすると充電が始まります。



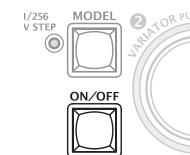
■ 4. 充電の完了

充電が完了すると、テスト発光スイッチ (READY) が点灯し、発光準備が完了します。



■ 5. 各灯スイッチ (ON/OFF) で使用する発光部を選択します

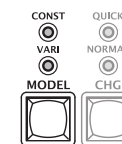
各灯スイッチで発光させる発光部を選択します。
「ON」にすると出力表示に出力が表示され発光可能となります。
「OFF」にすると出力表示に OFF と表示されます。



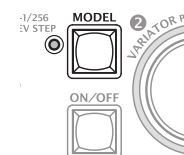
■ 6. モデリングランプを点灯します

1. モデリングランプモードスイッチ (MODEL) でモデリングランプの点灯モードを「調光 (VARI)」、「100%点灯 (CONST)」または、「消灯 (OFF)」に選択します。

☞ 詳細は 11 ページをご参照ください。

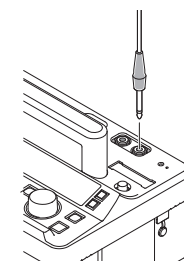


2. 各灯モデリングランプスイッチ (①・② MODEL) を「ON」にします。モデリングランプを「ON」にするとスイッチ横の LED(緑)が点灯し、該当する発光部のモデリングランプが点灯します。



■ 7. テスト発光をします

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して接続した発光部が正常に発光していることを確認してください。



■ 8. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

【ご注意】

- 本番撮影をされる前にご使用のカメラでシンクロ (同調) テストを行うことをお勧めします。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を 1/60 秒で使ってください。
- フォーカルプレーンシャッターの後幕シンクロには発光してもシンクロ (同調) しません。
- フォトセル、赤外シンクロ装置、RS- 受信器をご使用になる場合も、本番撮影される前にシンクロテストをおこなうことをお勧めします。

5 出力配分

出力配分は、使用する出力コネクターと灯数で選択します。

調光は各々の出力値を最大出力として、出力バリエーターで 1/512 まで調光できます。

コネクター番号	①	②
1灯	2400	—
1灯	—	1200
2灯	1200	1200

単位 (Ws)

【ご注意】

- コネクターを着脱するときは、必ずメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にしてから行ってください。

6 出力バリエーター／出力表示の切換え

■各灯バリエーター (①・② VARIATOR)

各灯の出力を FULL ~ 1/256 まで 1/10EV ステップで調光します。
押し込みながら回すと 1.0EV または 0.5EV ステップで調光します。

- 本機は出力を下げた場合、ディスチャージ機能がはたらくため空発光は不要です。
ディスチャージ中はテスト発光スイッチが点滅します。

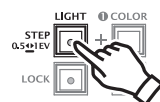


■調光ステップ切換えスイッチ (STEP)

バリエーター押し回しの調光ステップを 1.0EV または 0.5EV に切り換えます。

スイッチを長押しすると調光ステップが切り換わり、

出力表示①に調光ステップが「-1.0」または「-0.5」と表示されます。



■表示モード切換えスイッチ (Ws / Wv / SPEED)

出力表示を Ws (ワットセカンド) または Wv (ワットバリュー)、SPEED (閃光時間表示) に切り換えます。

- Ws (ワットセカンド)：ストロボの電気エネルギー量を表す数値です。
- Wv (ワットバリュー)：Ws を簡易指数に置き換えた数値です。本機の最大出力 2400Ws を 10.0Wv とし、1Wv 下がるごとに 1 絞り分の光量が下がります。
- SPEED：各ストロボ出力ごとの閃光時間を表示します。



7 色温度の調整

■色温度調整スイッチ (①・② COLOR + / -)

各灯の色温度をそれぞれ単独で +300K から -300K まで 100K ステップで調整します。

「+」「-」スイッチを長押しするごとに表示窓の色温度調整表示が 1 段移動します。

表示された数値 (+3 から -3) × 100 が色温度の調整値 (K) です。

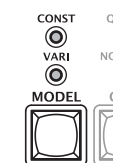


- ストロボ出力が大きくなると調整範囲が狭くなります。色温度の調光範囲外では、テスト発光スイッチが消灯します。
- 本機の推奨ヘッドは CAX-32CQ ヘッドです。
推奨ヘッドを使用することで、ストロボ出力を調光してもほぼ均一な色温度になるよう設計されています。

8 モデリングランプモード

■モデリングランプモードスイッチ (MODEL)

モデリングランプを「消灯 (OFF)」 「調光 (VARI)」 または 「100% 点灯 (CONST)」 にします。



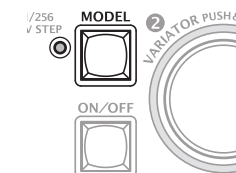
- OFF (モードを示すランプが消灯します。)
モデリングランプを消灯します。
- VARI
モデリングランプはストロボ出力が 2400Ws のときを 100% の明るさとしてストロボ出力に連動して調光します。1/16 以下は 1/16 の光量で一定です。
- CONST
ストロボ出力に関係なく、モデリングランプが 100% の明るさで点灯します。

■各灯モデリングランプスイッチ (①・② MODEL)

各発光部のモデリングランプを「ON」または「OFF」にします。

モデリングランプが「ON」のとき LED (緑) が点灯し、該当する発光部のモデリングランプが点灯します。

- モデリングランプの ON/OFF はモデリングランプモードスイッチ (MODEL) が優先されます。



9 ロックスイッチ

■ロックスイッチ (LOCK)

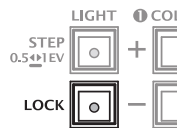
ライティングした設定を、不用意にさわっても変化しないようロックすることができます。

ロックスイッチ(LOCK)を押して「ON」にします。

スイッチ中央のランプが点灯して、下記の操作がロックされます。

- 各灯バリエーター (VARIATOR)
- 各灯 ON/OFF スイッチ (①・② ON/OFF)
- 色温度調整スイッチ (①・② COLOR +/ー)

- ロックスイッチが「ON」の状態でも、RS-コントローラー(別売)やワイヤレスアプリからの操作が優先されます。



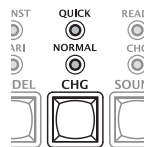
10 充電モード

■充電モードスイッチ (CHG)

使用状況や電力事情によってブレーカー容量が不足のときは、ノーマル充電モードで使用することができます。

充電モード (CHG)		充電時間 50Hz/60Hz	ブレーカー 容量
クイック (QUICK)	100V	1.2 秒	30A
	200V	1.2 秒	15A
ノーマル (NORMAL)	100V	2 秒	20A
	200V	2 秒	10A

※モデリングランプ 250W × 2 本使用

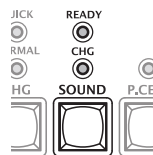


11 サウンドモード

■サウンドモードスイッチ (SOUND)

充電音を「消音(OFF)」 「充電中音(CHG)」または「充電完了音(READY)」にします。

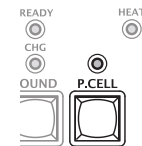
- OFF (モードを示すランプが消灯します。
充電状況を確認するためのブザーが鳴りません。)
- CHG
充電中にブザー(断続音)が鳴り、完了すると止まります。
- READY
充電が完了したときに、ブザーが鳴ります。
- 警報音は、サウンドモードに関係なく鳴ります。



12 フォトセル

■フォトセルスイッチ (P.CELL)

他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。
フォトセルスイッチ「ON」のとき LED (緑) が点灯します。
実際の撮影前に、必ずカメラとの同調テストを行ってください。



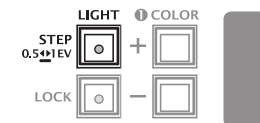
【ご注意】

- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を 50cm 以上離してセットしてください。蛍光灯の光の影響により、不発光や誤発光することがあります。
また、フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。
- 赤外シンクロ装置で使うときは、必ず各本体に 1 台ずつ赤外シンクロ受信器をセットして、フォトセルスイッチを「OFF」にしてください。
フォトセルスイッチを「ON」にすると、発光しても同調発光しないものができます。

13 パネルライト

■パネルライトスイッチ (LIGHT)

操作パネル手前のパネルライトが点灯します。
暗いスタジオでの操作時に使用します。

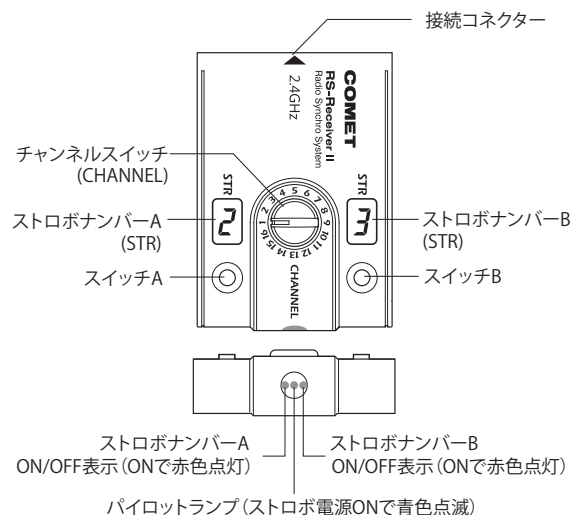


- スイッチ中央のランプはパネルライトが OFF のとき点灯します。

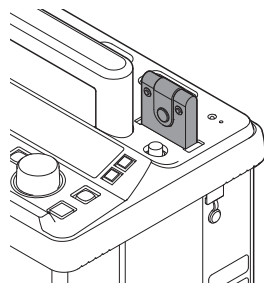
14 RS-レシーバーⅡ (RS-Receiver Ⅱ)

本機に付属のRS-レシーバーⅡを接続することで、RS-発信器（別売）、RS-コントローラー（別売）からストロボを無線シンクロ発光させることができます。

■RS-レシーバーⅡ各部の名称



■RS-レシーバーⅡの接続



1. RS-レシーバーⅡのチャンネルスイッチ (CHANNEL) をRS-コントローラーと同じチャンネルに設定してください。
RS-発信器をご使用の場合の設定方法は、別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」をご参照ください。
※チャンネルを変更する場合は、一度電源を「OFF」にしてから設定してください。
2. ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にしてください。
3. ストロボ本体のRS-レシーバーⅡ接続コネクタにRS-レシーバーⅡを取り付けてください。
4. ストロボ本体のメインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。
5. ストロボ本体のフォトセルスイッチ (P.CELL) を「OFF」にしてください。

6. RS-発信器または、RS-コントローラーを使用した同調テストをします。
発信器または、コントローラーのテストボタンを押します。
発信器または、コントローラーからの信号を正常に受信すると、ストロボが発光します。

【ご注意】

- RS-発信器の使用方法につきましては、製品付属の取扱説明書をご覧ください。
- 無線コントロール装置、無線シンクロ装置（弊社製）は無線 LAN と同様に 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。
無線 LAN 環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。
その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。
（使用周波数：2.427GHz ～ 2.457GHz）
- 無線シンクロ装置（弊社製）をRS-コントローラーまたは、RS-レシーバーⅡと併用される際は、無線シンクロ装置のチャンネルスイッチを別紙「無線シンクロ装置とのチャンネル対応表」のように設定してください。
無線シンクロ装置 RS-発信器 (RS-Transmitter)、RS-受信器 (RS-Receiver) 付属の取扱説明書に記載されたチャンネル表は使用しないでください。
- RS-受信器をストロボ本体とシンクロコードで接続して使用する場合、RS-レシーバーⅡをストロボ本体から取り外してください。
- RS-レシーバーⅡをストロボ本体に取り付け、取り外しをする際は必ず、ストロボ本体のメインスイッチを「OFF」にしてください。
- RS-レシーバーⅡをストロボ本体から取り外したときは必ず、付属のコネクタキャップをストロボ本体の接続コネクタに取り付けてください。
接続コネクタ端子のショート、破損の原因となります。
- 撮影機材を移動・運搬する際は必ず、RS-レシーバーⅡをストロボ本体から取り外してください。
ストロボ本体の接続コネクタ端子に負荷がかかり、破損の原因となります。

【RS-コントローラー使用上のご注意】

- RS-コントローラーから複数のRS-レシーバーⅡ（ストロボ）を操作する場合、極まれに受信できないストロボがでたり、到達距離が短くなるなどの影響がでることがあります。
RS-コントローラーでRS-レシーバーⅡを接続したストロボを操作したときは、コントローラーからのワイヤレス操作がストロボに反映（受信）されていることをご確認ください。
- 使用後は必ずRS-コントローラーから電池を取り外してください。
電池をセットしたままRS-コントローラーをケースなどに収納した場合、誤ってRS-コントローラーのスイッチが押された状態で放置され、電池が過放電による液漏れをおこす恐れがあります。
- COMET RC-System または、リモートコントロール機能を使用する場合、RS-コントローラーからの操作はテスト発光と無線シンクロのみ有効です。

15 RS-コントローラー (RS-Controller)

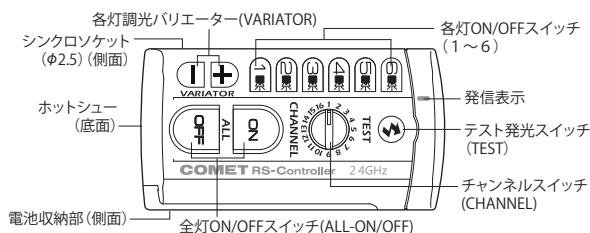
RS-コントローラー (別売) のチャンネル数は16チャンネルです。

RS-レシーバーⅡ、無線シンクロ装置(RS-受信器、RSミニレシーバー、RX-2受信器)と同じチャンネルに設定することで無線シンクロ発光が可能です。※無線シンクロ装置は別売です。

RS-レシーバーⅡを接続したストロボは無線シンクロ、テスト発光のほかに、全灯ストロボON/OFFが可能です。さらに、RS-コントローラーの各灯スイッチでRS-レシーバーⅡに設定したストロボナンバーを選択することで、個別にストロボON/OFFと調光が可能です。

- RS-コントローラーは複数のボタンを同時に操作できません。複数のボタンを同時に操作した場合、ストロボ本体が誤動作する恐れがあります。
- RS-コントローラーは5秒間操作しないと、スリープモードになります。
- RS-コントローラーの動作距離は見通しの良い場所で30m以内です。

■RS-コントローラー 各部の名称

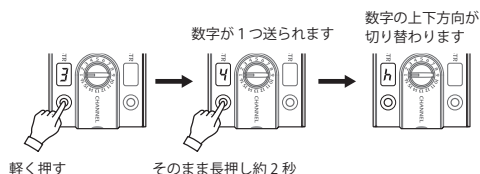


■RS-コントローラーの設定

1. 電池収納部にアルカリ乾電池単3形(1.5V)をセットします。 ※充電式電池(1.2V)は使用できません。
電池収納部の極性表示に従い、正しい向きにセットしてください。
※電池残量が少なくなるとRS-コントローラーからの操作到達距離が短くなったり、無線シンクロの不発が起きます。このような場合は、新しい電池に交換してください。
2. コントローラー底面のホットシューをカメラのアクセサリシューに差し込み、固定リングを締めます。シンクロターミナル内蔵のカメラの場合は、付属のシンクロコードで側面のシンクロソケット(φ2.5)と接続します。
3. RS-コントローラーとRS-レシーバーⅡのチャンネルスイッチ(CHANNEL)を同じチャンネルに設定してください。

■RS-レシーバーⅡの設定

1. 14ページ「RS-レシーバーⅡの接続」の手順でRS-レシーバーⅡをストロボ本体に接続します。
2. RS-レシーバーⅡのスイッチA・Bを押してそれぞれのストロボナンバーを1~6に設定します。スイッチを1回押すごとに1から6まで1つ送りに表示が切り替わります。



※スイッチAを押すと数字が1つ送られて、そのまま2秒間押し続けると、数字の表示方向が上下切り替わります。

- 同じストロボナンバーを2台以上のRS-レシーバーⅡに設定しないでください。
RS-コントローラーは各チャンネルごとに最大6灯操作可能です。

■全灯ストロボのON/OFF

●全灯ストロボの ON

RS-コントローラーの全灯ONスイッチ(ALL-ON)を押すと、同じチャンネルのストロボが一括ONします。

このとき、ストロボ本体の出力の出力表示に出力設定値が表示されブザー音が鳴ります。

RS-レシーバーⅡのストロボON/OFF表示(赤)が点灯します。

●全灯ストロボの OFF

RS-コントローラーの全灯OFFスイッチ(ALL-OFF)を押すと、同じチャンネルのストロボが一括OFFします。

このとき、ストロボ本体の出力表示に「OFF」が表示されブザー音が鳴ります。

RS-レシーバーⅡのストロボON/OFF表示(赤)が消灯します。

※ストロボ本体のサウンドモード(SOUND)がOFFのとき、ブザー音は鳴りません。

■各灯ストロボのON/OFF

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ(1~6)を2秒間長押しすると、個別にストロボをON/OFFすることができます。

【ご注意】

- RS-コントローラーでストロボ本体を全灯OFFまたは、各灯OFF操作をしてもストロボ本体のメイン電源は「OFF」になりません。ストロボ電源部を長時間で使用にならないときは必ず、ストロボ本体のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にするか、電源供給元のスイッチを切ってください。

■各灯ストロボの調光

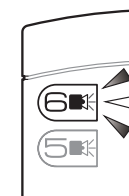
1. 調光するストロボを選択します。

RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチ(1~6)を押すと、スイッチが点滅します。

このとき、ストロボに接続したRS-レシーバーⅡのストロボナンバーが点滅します。

※ストロボを「OFF」にした状態で、ストロボの調光はできません。

調光する前に、RS-コントローラーの各灯ON/OFFスイッチでストロボを「ON」にしてください。



2. RS-コントローラーの調光バリエーター (VARIATOR-+/-) を押してストロボを調光します。
1回押すと CAPA-2400CQ は 1/10EV ステップで調光され、ブザー音が1回鳴ります。
長押しすると 1EV ステップで調光されます。
調光範囲を超えるとブザー音が2回鳴ります。
※RS-コントローラーの調光バリエーターの長押しによる調光ステップは1EVステップのみです。
3. 調光が完了したら、各灯 ON/OFF スイッチ (1~6 どれでも) を押すと、スイッチのランプが消灯し、ストロボの選択が解除されます。
スイッチの選択は、操作しないままで約5秒経過しても解除されます。

■テスト発光

テスト発光スイッチ (TEST) を軽く押すと、同じチャンネルのストロボが発光します。

16 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、該当する出力コネクタの出力表示が点滅し、同時にブザーで知らせます。
充電完了前に発光操作を行ったときも、同様に警報が出ます。

- 警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。
また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることで解除されます。



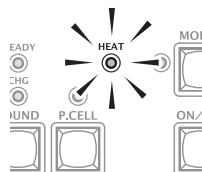
17 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、過熱警報表示 (HEAT) が点滅し、同時にブザーで知らせます。このときは、ただちに使用を中止してください。

- 警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■警報の解除

過熱警報が働いたときは、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、再び「ON」にするとブザーが止まります。この状態で電源部内の温度が下がるのを待ちください。所定の温度以下になると、過熱警報表示が消灯して使用できる状態になりますが、完全に温度が下がったわけではありませんので連続発光はさけてください。



18 ヒューズ交換

入力電圧 (100V または 200V) を変更する場合、または、ヒューズが切れた場合は以下の要領でヒューズを交換してください。

1. 電源部のメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC プラグをコンセントから抜いてください。
2. ヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。
3. 下の表を参照して、定格のものと交換してください。

	100V	200V
STROBE	25 A	12 A
MODEL	7 A	7 A

●ヒューズは必ず定格のものを使用してください。

■ヒューズ切れが原因と考えられる症状

- ストロボヒューズ
充電が完了せず、レディーランプ (READY) が点灯しません。
- モデリングランプヒューズ
発光部のモデリングランプが点灯しません。

【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。

19 リモートコントロール機能

CAPA-2400CQ 電源部は Wi-Fi 通信によるリモートコントロール機能を搭載しています。
リモートコントロール機能には RC-System と Web 操作の2種類があります。

■ RC- System について

RC-System は、iPad 対応アプリです。(無料)

CAPA-2400CQ のすべての機能を、AirMac Express (Wi-Fi ルーター) 経由で

iPad で最大 8 台 16 灯を操作、ライティングデータを保存・呼び出しすることができます。



■ Web 操作について

ブラウザソフト Google Chrome より、AirMacExpress (Wi-Fi ルーター) 経由で CAPA-2400CQ 電源部を個別操作することができます。(Windows、Macintosh コンピュータまたは iPad にて操作可能)

リモートコントロール機能の操作方法につきましては、弊社ホームページ内「ダウンロード/取扱説明書」より『CAPA-2400CQ リモートコントロール機能 操作説明書』をご参照ください。

URL <http://www.comet-net.co.jp>

20 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

21 仕様

品 名	CAPA-2400CQ 電源部		
型 式	CAPA-2400CQ		
定格電圧	AC100V ± 10% / 200V ± 10% (自動切換) 50/60Hz		
ブレーカー容量	(100V) ノーマル：20A (200V) ノーマル：10A	クイック：30A クイック：15A	
ヒューズ定格	(100V) ストロボ：25A (200V) ストロボ：12A	モデリング：7A モデリング：7A	
最大出力	2400Ws		
出力コネクター数	2 (CX タイプコネクター)		
推奨ヘッド	CAX-32CQ H		
出力配分 (Ws)	出力配分は出力コネクター感知方式で使用するコネクターにより、 下表のように配分されます。		
	コネクター番号	①	②
	1 灯	2400	—
	1 灯	—	1200
	2 灯	1200	1200
各灯スイッチ	ストロボ、モデリングランプを ON/OFF		
ストロボ調光方式	2回路独立シリーズカット調光・電圧調光		
ストロボ調光範囲	エンコーダーと出力コネクターの配分による FULL～1/512 1/10EV ステップ (ツマミ押し回し 1.0EV ステップ又は 0.5EV ステップ)		
ストロボ調光 ステップ切換え	ツマミ押し回し時のストロボ調光ステップ切り換え： ストロボ調光ステップ切換えスイッチ (STEP) 長押しで 1.0EV ステップ又は 0.5EV ステップに切り換え		
出力表示	デジタル表示 表示モード切換スイッチ (Ws/Wv/SPEED) を押すごとに Ws、Wv、閃光時間表示 (SPEED) に順次切換え ■ Ws 表示モード (4 桁デジタル表示 / OFF 表示あり) ●出力コネクター① (1 灯)：2400 ～ 9.4Ws (2 灯)：1200 ～ 4.7Ws ●出力コネクター② (1 灯又は 2 灯)：1200 ～ 4.7Ws ■ Wv 表示モード (3 桁デジタル表示 / OFF 表示あり) ●出力コネクター① (1 灯)：10.0 ～ 2.0Wv (2 灯)：9.0 ～ 1.0 Wv ●出力コネクター② (1 灯又は 2 灯)：9.0 ～ 1.0 Wv ■ SPEED 表示モード (分数分母 5 桁)：1/370 ～ 1/10310		
色温度調整	色温度調節スイッチ (①・② COLOR) による± 300K 100K ステップ		
モデリングランプ定格	100V 250W × 2 (100V / 200V 共通)		
モデリング 調光モード	100%点灯 (CONST) / 出力連動調光 (VARI) ※ 1 / 消灯 (OFF) 各灯モデリング ON/OFF スイッチあり ※ 1 モデリングランプはストロボ出力 2400Ws のとき 100%の明るさとしてストロボ出力に 連動して調光します。1/16 以下は 1/16 の光量で一定です。		
充電時間 (FULL)	クイック：1.2 秒 ノーマル：2.0 秒 (100V / 200V 50 / 60Hz 共通)		
閃光時間 (FULL)	出力コネクター① 1 灯：1/580 出力コネクター② 1 灯：1/970 (推奨ヘッド使用時)		

連続発光回数	ストロボ出力 4.7Ws のとき 1 秒間に 10 回発光可能 ※ご使用になる電源環境により同期しない場合があります。
パネルライト	あり (スイッチ付)
サウンドモード	充電中音 (CHG) / 完了音 (READY) / OFF
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ× 2
シンクロ電圧	12V
フォトセル	内蔵 (スイッチ付)
無線制御機能	1. RS-Receiver II (専用コネクター× 1) 2. AirMac Express (Wi-Fi ルーター) 経由で RC-System (iOS) による制御 3. AirMac Express 経由で Web 版による制御 (Wi-Fi ルーターとの通信環境がスタンバイされると Wi-Fi 通信表示点灯)
無線シンクロ	RS-Receiver II (専用コネクター× 1) 使用周波数 : 2.427GHz ~ 2.457GHz
ディスプレイ機能	内蔵
不発光警報	該当出力表示点滅とブザー連続音
過熱警報	過熱警報表示 (HEAT) 点滅とブザー連続音
ヘッドケーブル保護機能	内蔵 充電モードがクイック (QUICK) で作動 ヘッドケーブル異常発熱時に QUICK 表示が点滅し、 充電モードをノーマル (NORMAL) に自動切換
クーリングファン	内蔵 (温度検出により ON/OFF 自動切換)
寸法	295.3 (W) × 212 (D) × 300.5 (H)mm ※取手突起含まず
重量	12.5kg

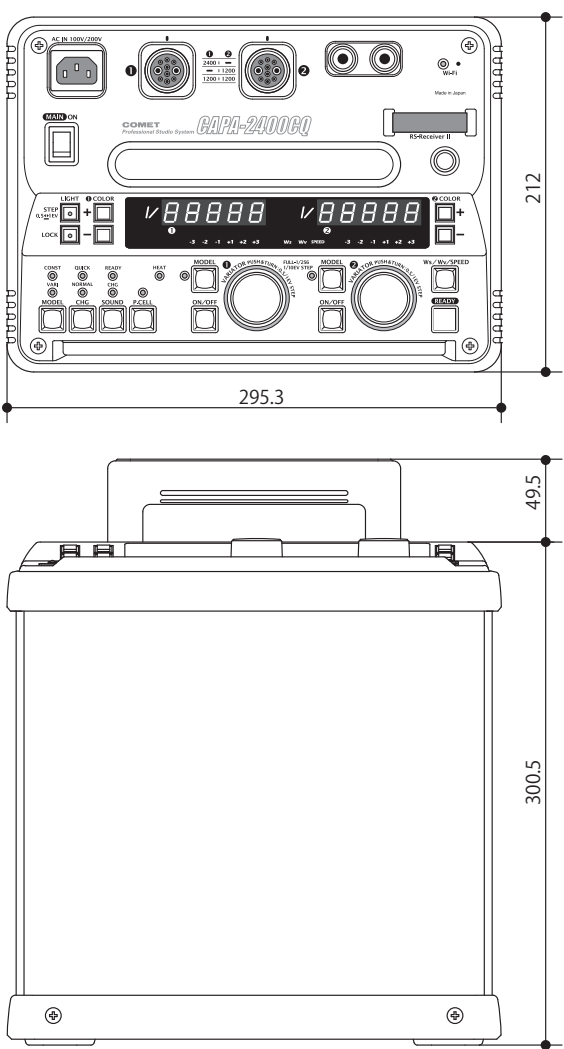
品 名	RS-Receiver II
型 式	RS-R-2
使用周波数	2.427GHz ~ 2.457GHz
チャンネル数	16CH × 6 灯
動作距離	30 m以内
灯体識別表示	1 桁デジタル表示× 2 回路
寸法	43 (w) × 61.5 (h) × 13 (d) mm
重量	20 g

※ RS-Receiver II 付属

品 名	RS-Controller
型 式	RS-CNTR
使用周波数	2.427GHz ~ 2.457GHz
チャンネル数	16CH
各灯スイッチ	6
動作距離	30 m以内
送信 LED	有り (発光、全灯 ON 信号送信時に点灯)
テスト発光ボタン	有り
ストロボ調光	各灯スイッチで灯体を選択。+ / - ボタンによる
ストロボ ON/OFF	全灯 : ON / OFF スwitchで全灯 ON / OFF 各灯 : 各灯スswitch長押しで各灯ストロボ ON/OFF
使用電池	アルカリ乾電池単 3 形 (1.5 V) 1 本
寸法	43 (w) × 38 (h) × 81 (d) mm
重量	45 g

※ RS-Controller 別売

- 本仕様は、2017 年 8 月現在のものです。
- 改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。



- 商標について
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Google Chromeは Google Inc.の登録商標です。
 - iPad、Macintosh、AirMac Expressは Apple inc.の登録商標です。
 - iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
 - App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
 - 「microSD (TM)」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
 - Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

MEMO

MEMO
